

## 研修・講習会企画に関するガイドライン 2020 年度版

2020 年 7 月 13 日  
一般社団法人 日本音楽療法学会  
研修・講習委員会  
オンライン企画特別委員会

“新型コロナウイルス”によって私たちの生活は大きく変わりました。とりわけ、他者との距離をとる医学的配慮「ソーシャルディスタンス」や活動的配慮「歌うことの自粛」など、他者には近づかないという行動の指針は、これまでの音楽療法の実践を大きく制限するものとなりました。しかしそれでも、私たちは音楽療法を対象者に届ける必要があります。音楽療法士としての学びも続けなければなりません。歩みを止めることなく、この時を乗り越えたいと思います。

日本音楽療法学会では、この状況に対処するため、これまでの研修方法の良さを踏まえつつ、「オンライン」での研修の実施を本格的に検討することになりました。この「柔軟な対応」に取り組んでまいりましょう。ここで獲得したノウハウは、ウイルス収束後にも、私たちにとって大きな力になるのではないのでしょうか。この取り組みは、「今」を生きる私たちに与えられた課題であり、挑戦なのかもしれません。

ここに「研修・講習会企画に関するガイドライン 2020 年度版」を作成しました。具体的な講習形態として、従来の対面型を含め、オンデマンド型、ライブ（双方向性）型、折衷型の4つを示し、それぞれの型に相応しい内容、また配慮点などをガイドラインとして掲げ、今後、多少の修正を加えながら「よりよいガイドライン」を作っていきたいと思います。また最終的には、研修・講習を主催する団体の見識による判断となりますが、“チェック表”など【実施マニュアル】も付加しました。是非、ご活用ください。

## 1. 前文

音楽を通して他者と関わる音楽療法ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「オンライン」の導入はやむを得ないであろう。しかし「この現状」を、学びのスタイルを見直す機会と捉え、ここに「多様な学び方」企画実践へのガイドラインを提示する。

### ◎オンラインの導入について

近年、IT機器の進歩により精度が向上し、すでに、放送大学や各大学の通信教育などがその方法を採用している。また、オンライン研修・講習として、企画から配信、参加申込み、参加費の決済、テスト・レポート受理、査読、受講証明書発行までの全てを担う業者も複数ある。「新しさ」だけに惑わされることなく、研修・講習会の内容を十分吟味し、費用と運営内容を確認するなど、主催側の十分な検討が必要になる。

## 2. 研修・講習会 企画実践の4つの形態

### ① 対面型

従来の「会場における実開催」、対面による研修・講習

### ② オンデマンド型

オンラインで、ID取得受講者が視聴したい時に好きな「研修・講習映像」を視聴できるサービス。ここでは、予め申込み、期限内に複数回視聴可能となる。

### ③ ライブ（双方向性）型

オンラインで、Skype、Zoom、Google Meet、Webex、Teams等のWeb会議アプリを使用する「やりとり」可能なオンライン講習。ここでは、予め申込み、「同日、同時間」におけるオンライン上でのミーティング形式となる。

### ④ 折衷型

上記の対面型、オンデマンド型、ライブ（双方向性）型を組み合わせた研修・講習。  
《例1》同会場にて「対面型講習」を行い、その場面を録画して「オンデマンド型講習」として配信し、受講する。

《例2》「オンデマンド」で事前に、またはリアル・タイム（同時）で視聴し、その「映像の内容」についてライブ（双方向性）型で検討し合う。

その他、研修・講習の内容、参加者の規模、業者を入れるか否かなどにより、折衷型としてさまざまなスタイルが考えられる。

### 3. 4つの形態の主な内容と配慮点

形態	主な内容	配慮点
<b>① 対面型</b>  *受講人数 講義・演習内容・会場スペースに相応しい人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演習、ワークショップなど、いわゆる“アクティブラーニング”の形態を必要とする講習</li> <li>・ 扱う事例の個人情報が比較的多い講習</li> <li>・ 受講者の個人情報が守られる空間を提供する必要がある講習</li> <li>・ 新しい発想、発見が講習内容の中心的目的である講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場の広さ</li> <li>・ 他者との距離のとり方への配慮</li> <li>・ マスク、手袋などの着用</li> <li>・ 「歌う」ことへの配慮</li> <li>・ 楽器共有への配慮</li> <li>・ 相互交流の方法</li> <li>・ 集団活動への配慮</li> <li>・ 身体活動への配慮</li> <li>・ 換気、休憩への配慮</li> <li>・ 開催地域の感染状況への対応</li> </ul> <b>※追加配慮事項：実施マニュアル参照</b>
<b>② オンデマンド型</b>  *受講人数 講義・演習内容に相応しい人数（尚、業者を利用する場合は人数により料金設定が変わることを考慮） *広く非会員の参加が望める *IT機器とその操作知識が必要になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一方的な映像配信になるため、講義形態向き</li> <li>・ 音楽療法概論、音楽療法の方法論、音楽療法のモデル紹介、検査法、関連領域、一般教養（哲学・倫理・文化論・生理学・看護学・心理学・社会学等）など</li> <li>・ 関連領域、音楽療法に関する講演等々、新しい見識、知識獲得などの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報の扱いへの配慮</li> <li>・ 使用する音楽等、著作権へ配慮</li> <li>・ 以上の点から、いわゆる“講師丸投げ”は極めてリスクが高い</li> </ul> <b>【要事前点検】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収録動画（映像）の所有権について、事前の取り決めが必要</li> <li>・ 受講者の不正なダウンロード、録画を規制する手だてが必要</li> <li>・ 現実的な受講確認の方法を吟味する必要がある</li> <li>・ 視聴期間の制限を設ける</li> </ul>
<b>③ ライブ（双方向性）型</b>  *受講人数 双方向可能な人数の設定と、司会・進行役の必要を確認した上で、募集人数の制限も検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音、音楽の質は問わない方法論の講習</li> <li>・ 個別や集団活動への対応術</li> <li>・ 曲の紹介や使い方講習</li> <li>・ 動画観察評価の講習</li> <li>・ 分科会ディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイムラグ（時間的ズレ）や音質などの不具合を予め想定の上での対応法への配慮</li> <li>・ アプリの操作を熟知する</li> <li>・ 受講者の不正なダウンロード、録画を規制する手だてが必要</li> <li>・ 受講確認の方法を吟味する</li> </ul>
<b>④ 折衷型</b>  *受講人数 双方向可能な人数の設定と、司会・進行役の必要を確認した上で、募集人数の制限も検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記《例1.2》のように各形態に相応しい内容を吟味</li> <li>・ 個別性と共同性を担保できる内容</li> <li>・ 「双方向性（やりとり）」を重視した内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セッション場面（動画）におけるタイムラグは無いが、スムーズな話し合いへの配慮は必要になる</li> <li>・ 個人情報の守秘義務の遂行</li> <li>・ 時間的制約を遵守する必要がある</li> <li>・ IT機器に不慣れな方への配慮</li> </ul>

## 実施マニュアル

### 1. 動画配信への倫理上の措置

#### ◎オンライン講習（オンデマンド型・ライブ型・折衷型の全て）

受講申込者のみが視聴し、録画厳禁というルールではあるが、オンデマンド配信の性質上、視聴する者たちの行動をモニターすることが困難である。従って、企画の段階から、動画には対象者が撮影されている写真、動画等は含めないようにする。

ただし、動画視聴が講習内容に不可欠である場合は、下記の措置を実行すること。

①対象者または代理人による、動画公開への [同意書]、②講師・発表者による「誓約書」を事前に準備し、主催責任者に提出する（責任者管理保存）。なお、「同意書・誓約書」の書式は、第 18, 19 回 学術大会第 3 次案内掲載の「発表についての同意書・誓約書」に準ずる。※2016 年刊行日本音楽療法学会『倫理ハンドブック』参照

### 2. 著作権上の措置

動画内にて使用する音楽（楽曲）に [著作権使用許可] が義務づけられている [演奏、楽譜、歌詞等] が含まれている場合には、音楽著作権侵害が生じるため、事前に申請を済ませ、資料などに [許諾番号] を掲載すること。もしくは、著作権フリー（著作権が切れているもの）や、JASRAC に登録されておらず作詞者・作曲者の承諾を得ているものを使用すること。

### 3. 参加確認について

参加確認の方法について、①対面型は従来通りとし、オンラインを用いる②オンデマンド型、③ライブ（双方向性）型、④折衷型に関しては、(a)レポート (b)画面による入退確認 (b)テスト のいずれか1つである。以下、それぞれについて配慮点を記す。

#### (a) レポート

【事前の査読者依頼→レポート回収→査読者へ振り分け作業→送付→査読→期日までの回収→合否判定点検→受講証明書発行送付】との行程が必要になる。従って、参加人数が多い場合には、かなり煩雑な作業となることを予め想定し進めること。

#### (b) 画面による入退確認

参加人数が多い場合、画面上で確認することはかなり困難である。業者依頼の場合、「視聴履歴記録」の提出を求めることも可能であるが、実際に受講者が視聴していたかなどを確認することには、不確実性が伴うことを事前に想定し決定すること。

### (c) テスト

例えば、10問多肢選択式（4者択一等）の問題を事前に講師が作成し、オンライン受講直後、受講者はテストを実施し解答用紙を送信する。事後採点、6問以上正解の場合は合格とし「受講証明書」を発行送付。これらの対応は、業者を入れるか否かにより方法は変わるが、作業量の負担からも(a)(b)に比べ現実的と思われる。

### ◎資料【オンライン講習会の受講ポイントについて（2020規則書）】より転載

※下記、オンライン講習には オンデマンド型、ライブ(双方向性)型、折衷型がある。

主催		学会・支部主催		認定団体主催	
講習会開催形式		対面講習	オンライン講習	対面講習	オンライン講習
参加確認ポイント(P)取得		参加者 当日受講確認	※主催者の参加確認必須	参加者 当日受講確認	※主催者の参加確認必須
認定ポイント	レポート無	90分につき 2P	90分につき 2P	90分につき 1P	90分につき 1P
	レポート有	90分につき 4P	90分につき 4P	90分につき 2P	90分につき 2P
更新ポイント		180分以上 一律 5P	90分～180分未満 2.5P 180分以上一律 5P	180分以上 一律 3P	90分～180分未満 1.5P 180分以上一律 3P

\*主催者が参加確認を行うことを必須条件とする

\*参加確認方法は①レポート、②テスト、③画面による入・退履歴 いずれか1つ必須

\*参加確認の責任者氏名を「講習会等認定申請書」に明記する

### ※対面型講習：追加配慮事項

- 1) 申込受付は「HP、メール、郵送」などを利用し、直接対面を避ける
- 2) 当日の受付は簡素化し「筆記用具、紙媒体、受付票など」の共有・交換を避ける
- 3) 受講人数は、国・各自治体の基準に基づき制限する
- 4) 受講者の健康状態を「自己申告：健康チェック票」に記入いただき回収箱へ
- 5) 自宅から会場まで直接集合か否か、また利用の交通機関を記入いただき回収箱へ
- 6) 事前に座席・肘掛けなど、拭き取り消毒を行う
- 7) 当日、入退室時の手指消毒を十分行う
- 8) マスク（フェイスシールド）等の着用を要請する
- 9) 座席は間隔を空け「横並び」とする
- 10) 誰がどこに着席したか分かるように「座席票を全員に配布」記入後、回収箱へ
- 11) 会場の入口・出口を別に設定し、対面を避ける
- 12) 講師の接近や歌唱への十分な配慮、楽器の共有は避ける
- 13) 水分補給以外の飲食は行わない
- 14) その他、研修・講習・活動内容における感染防止対策の徹底

## 4. チェックリスト

### ① 対面型

<input type="checkbox"/>	研修・講習内容において、対面型が相応しい	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	対面型への配慮点は考慮されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	受講者間の身体的距離について、予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	『歌唱』への感染予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	『楽器活動』への感染予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	『話し合い』への感染予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染予防対策上、相応しい受講人数である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	受付時・入退室時の感染予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	以上、新型コロナウイルス感染予防対策は十分になされている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	総合的に、研修・講習会として充実した企画実施内容である	はい いいえ

### ② オンデマンド型

<input type="checkbox"/>	オンライン：オンデマンド型に相応しい研修・講習内容である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	動画収録事前に「倫理・著作権侵害」等への配慮を講師へ確認した	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	演奏、楽譜、歌詞等の著作権侵害への措置は完全に実行されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	主催責任者による動画配信・著作権への措置は完全に遂行されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	動画の所有権について、講師との話し合いは完了している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	受講確認の方法について、十分検討し適切な方法を選択している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	企画から動画収録、配信までに必要な期間の確認は済んでいる	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	[受講申込] から [受講認定書発行] までの流れを確認している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	以上、オンライン・オンデマンド型への配慮点は考慮されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	総合的に、研修・講習会として充実した企画実施内容である	はい いいえ

### ③ ライブ（双方向性）型

<input type="checkbox"/>	オンライン：ライブ（双方向性）型に相応しい研修・講習内容である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	講師による、動画など個人情報に関する「倫理的配慮」を確認	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	講師による、演奏、楽譜、歌詞等の著作権侵害への措置を確認	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	主催責任者による動画配信・著作権への措置は完全に遂行されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	オンライン：ライブ（双方向性）型に相応しい受講人数である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	受講確認の方法について、十分検討し適切な方法を選択している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	進行を円滑にするため、司会進行役は必要であるが、依頼は済んでいる。	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	[受講申込] から [受講認定書発行] までの流れを確認している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	以上、ライブ（双方向性）型への配慮点は全て考慮されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	総合的に、研修・講習会として充実した企画実施内容である	はい いいえ

#### ④ 折衷型

<input type="checkbox"/>	折衷型の手法を検討し、その形態に相応しい研修・講習内容である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	対面型、オンデマンド型、ライブ(双方向性)型の組み合わせは適切である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	講師による、動画など個人情報に関する「倫理的配慮」を確認	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	講師による、演奏、楽譜、歌詞等の著作権侵害への措置を確認	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	主催責任者による動画配信・著作権への措置は完全に遂行されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	動画の所有権について、講師との話し合いは完了している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	決定した折衷型の形態に相応しい受講人数である	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	当日の司会・進行役について、講師自身か別途設定するか確認済み	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	受講確認の方法について、十分検討し適切な方法を選択している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	企画から動画収録、配信までに必要な期間の確認は済んでいる	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	[受講申込] から [受講認定書発行] までの流れを確認している	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	以上、決定した折衷型の形態への配慮点は全て考慮されている	はい いいえ
<input type="checkbox"/>	総合的に、研修・講習会として充実した企画実施内容である	はい いいえ

#### ◎チェックリストの基準について

チェックリストの実行にあたっては特に基準を設けないが、刻々と変わる事態に対応し、研修・講習会主催者が、責任をもって企画実施できるように「すべて『はい』が望ましい」こと、そして、安全・安心を担保しながら充実した研修・講習がなされることを希望する。

#### ◎おわりに

以上、私たちにとっては初めてに近い経験である。チャレンジする気持ちを鼓舞するだけでなく、チェックリストを用いて、内容の充実と感染防止対策、倫理・著作権への配慮等を十分に行うことで、社会に受け入れられ、意義のある研修・講習会になるものと思われる。これこそが「新しい挑戦」であろう。